

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

学校目標：健康で思いやりがあり、主体的に学び合う生徒の育成

令和2年度重点目標：創造・挑戦・自立

豊かな人間性

＜心豊かで思いやりのある生徒＞

- さわやかな笑顔であいさつ
- お互いを認め、議論し合える道徳教育の充実
- 達成感を味わわせる体験活動の充実

健康・体力

＜心身ともに健康な生徒＞

- 基本的な生活習慣の形成(早寝・早起き・朝ご飯)
- 何事にも粘り強く最後までやり抜くたくましい心の育成
- 体育の授業、部活動を中心とした体力づくりの推進

資質・能力の育成＜自ら意欲的に学ぶ生徒＞

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 創造することができる
- 主体的に学び、課題解決することができる
- 様々な場面で学んだことを生かすことができる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 自分の考えで、新しいことをつくりだしている
- 交流を通して解決策を考え、実行している
- 学んだ知識や体験を、活用している

生徒の実態

- 学習意欲が高く素直な生徒が多いが明確な目的意識を持っている生徒が少ない

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 職員間の共通確認、情報共有
- 個別の支援計画、指導計画、つなぐ
- SC、SSW、保護者、関係機関との連携

目指す生徒の姿

- 夢を持ち、自己実現に向け意欲的に学び続ける生徒
- 心豊かで思いやりのある生徒
- 自ら進んで新たな事に挑戦し、自立できる生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- すべての学習の基礎となる言語能力の育成
- コミュニケーション能力の育成
- より良く生きるための道徳性の涵養

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 「聞く・話す・読む・書く」時間の確保(学びの姿)
- 自分の考えを持ち、他者との交流を通して、考えを広げる
- 体験活動や地域人材の活用

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学級経営 ・学校生活アンケート(毎月) ・キャリアパスポート ・小中連携 ・校内研修の確立
- ・防災訓練(火事・地震・津波) ・SC・SSW 外部機関との連携 ・保護者・地域との情報共有及び連携

安心・安全を守る

- いじめや不登校の未然防止(早期発見、早期対応)
- 危機管理能力の育成(回避・予知)
- ひとり一人を大切に居場所づくり

開かれた学校作り

- 学校公開等、学校の取組を知らせる機会の設定
- 情報発信(HP、各種通信) ○地域素材の教材化
- 学校評価アンケートの複数回の実施